

# 止まり木



令和5年（2023年）

5月8日発行  
第5号

大阪市立横堤中学校

## 人の不幸の上に立って得られる幸せはない

今日の全校集会でみんなに「いじめ・いのちについて考える日」についてお話をしました。以下、改めて内容を簡単に書きますのでもう一度読んでみてください。



5月8日 全校集会より

みんなにとって一番大切なものは何ですか？と問われたらみんなは何と答えますか？ 勉強、家族、友達、お金、それともスマホでしょうか。

校長先生は「自分の命」と答えます。この命さえあれば、大切な家族を守ることもできるし、大切な時間を過ごすことができます。また、大好きな横堤中学校の君たちとも有意義な時間を過ごすことができます。

2013年の5月に広島の中学生3年生の女子が自ら命を絶ちました。後の調査でいじめが原因だと判明しました。

それから各地でいじめについて考える日が制定されていき、大阪市では2017年から5月のGW明けの月曜日と制定されました。そして今年からいのちについても考えるということで、今日5月8日が「いじめ・いのちについて考える日」ということになります。

また、2019年には「大阪市いじめを考える中学生フォーラム」が行われ、各ブロックでの生徒会交流会での取り組みや、代表校のいじめ防止の取り組みが発表されました。そしてその時にスローガンを決めることになり、「**いじめSTOP、見逃し0(ゼロ)**」が決議され、今もそのスローガンが続いているいます。

みんなの命はかけがえのないものであり、どの命も大切です。自分の命も友だちの命も大切にしてほしいと心から思っています。しかし、そんな大切な命を奪うかもしれないのがいじめです。

いじめとは、「他の人から、何かを言われたり、されたりしたことで、苦痛やいやな気持ちを感じたら、いじめとなりうる」ということ。良かれと思って言ったことで、相手が苦痛を感じたり、嫌だと思えたりすれば、いじめになってしまふことを忘れないでほしいと思います。100%いじめる側が悪いのです。それはみんなもわかっていると思います。

そのうえで、これからも**いじめについて正しく知り、正しく考え、正しく行動**する事を心がけてほしいと思っています。だから、より良い仲間づくりのために周りにいる人たちの**よい所を探せる人**になってください。

そのためには、まずは自分のいのちの大切さを知らなければならぬし、そうでないと他のいのちも大目にできることになります。

人のいのちは一度きりで、**自分のいのちは自分に与えられた時間**だとも言えます。

これから生きていく時間。それが君たちのいのちであり、一度しかない自分の時間なのです。だからこそ、どうかその時間を大切にし、自分だけでなく他の人や物のいのちも大切にしていてください。そしてどうか忘れないでください。

『**人の不幸の上に立って得られる幸せはない**』ということを。

今日は一人一人が「いじめやいのち」についてしっかり考える一日にしてください。

\*新型コロナ感染症が2類から**5類**になりましたが、今まで学んできたことを忘れず、引き続き感染予防に努めましょう。